

東京2020オリンピック大会

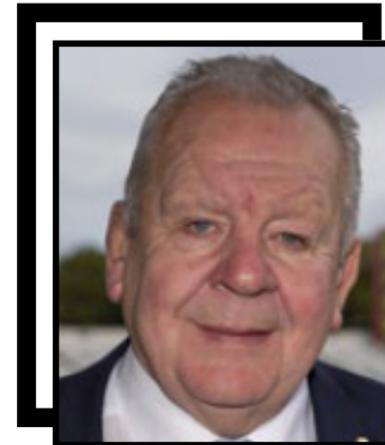


ラグビーセブンズ

メディアガイド



会長の挨拶



ビル・ボーモント卿

ワールドラグビーを代表し、現地取材、また素晴らしい中継放送やデジタルメディアサービスを通じた遠隔取材に関わる皆様方を、東京2020オリンピック大会ラグビーセブンズにお迎えできることを嬉しく思います。

オリンピック大会開催に向けて尽力してきた関係各位にとっては、これまでに経験したことのない厳しい道でしたが、真にワールドクラスの会場で、男子12チーム、女子12チームが最高のパフォーマンスを発揮できるよう、安全・安心で質の高い環境を提供するために尽力いただいたIOC、東京2020、そして日本の関係者の皆様のご献身に感謝いたします。

人類にとって困難なこの時期における東京オリンピックの開催は、世界の結束、連帯、インスピレーションの象徴としての役割を果たすかもしれません。私たちは共にいればもっと強くなることができるのです。そしてこのようななくてはならない価値観を競技場の内外で示すのに最もふさわしいスポーツはラグビーだと信じています。

ラグビーセブンズへの関心は世界中で急速に高まっており、ワールドラグビーのメンバーリーグである全6地域を代表するチームが繰り広げる6日間のスリリングな大会を通じ、この激しくダイナミックなゲームのスピード、スキル、初めから終わりまで見逃すことのできないドラマが見事に表現されることでしょう。

記録的な放送視聴者数と膨大な数の新しいラグビーファンを獲得し、開催国民の想像力をかき立てた「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の大成功を受けて、ラグビーセブンは東京大会で最も期待されるスポーツの一つになると期待されています。2019年の大会でも輝かしい開催会場となった東京スタジアムで、再びラグビーが開催されることは素晴らしいことです。

2016年のリオデジャネイロオリンピックでのラグビーセブンの初採用は、全世界で推定3,000万人の新しいファンを獲得するなどこのスポーツに大きな影響を与えました。私たちは、新しいファンの関心を掴み、世界中で注目度を高めるなど、ラグビーの発展に向けた革新的な方法を模索し続けています。

プレーヤーは大会というショーの主演であり、チームがこの大会に向けてできる限り最高の準備をできるよう、IOCから受けた支援のおかげで、ワールドラグビーはオリンピック出場資格を持つ組合のセブンズプログラムに400万ドルを投資し、数々のハイパフォーマンス準備大会を開催してきました。

そして今、地球上で最も優れたプレーヤーたちが、スポーツにおける世界最大の舞台でその才能を披露する時が来ました。大会に出場するプレーヤーの皆さんはきっと、この東京で、各国を代表してプレーできることに大きな興奮と誇りを感じていることでしょう。

我々のゲームの心と魂であるプレーヤー、コーチ、マッチオフィシャル、スタッフ、ボランティア、そしてファンの皆様にこの大会の実現を可能にくださったことへの感謝の意を表するとともに、皆様のご多幸をお祈りいたします。

ショーをお楽しみください。

ワールドラグビー会長
ビル・ボーモント卿

これが我々のセブンズだ

東京オリンピック2020大会に向けて盛り上がりを見せる中、ワールドラグビーは6月16日、ラグビーセブンズの新しいキャンペーン「This is how we sevens (これが我々のセブンズだ)」を開始しました。

このキャンペーンは、ラグビーセブンズがもつエネルギーやワクワク感、そしてラグビーセブンズで活躍する様々な人物を紹介し、オリンピックを通じた露出を最大限に活用して世界中のファンを魅了し、ラグビーに興味を持ってもらうというワールドラグビーの主要目的を支援するものです。

キャンペーンのローンチビデオを見る



新しいコンテンツを加えた大胆でダイナミックなルック&フィールのキャンペーンローンチビデオをスタートさせ、7週間にわたり既存および新規のファンの皆さまにラグビーセブンズをお届けします。

カーリン・アイルズ、ダン・ノートン、セリア・クアンザをはじめとするラグビーセブンズのスーパースターたちに脚光を当てた「The Open Side」のインタビューシリーズでは、ラグビーセブンズならではの奥深いストーリーテリングを前面に押し出しています。

ますます人気を博している「アルティメット・ラグビー・チャレンジ」シリーズでも、チームの限界に挑戦するスキルベースのチャレンジを満載し、セブンズのテイストを盛り込んでいます。ワールドラグビーのTikTokチャンネルの「Freshman Fan」シリーズでは、ラグビー初心者の方がセブンズについての全てを学ぶことができます。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも、カリフォルニアで行われているアメリカ代表女子チームのトレーニング合宿や、ブエノスアイレスで行われているアルゼンチン男子代表チームの準備の様子など、ファンがトップチームの舞台裏を覗くことができます。

ファンの皆さまは、ワールドラグビーのSNSプラットフォームで#HOWWESEVENSを利用し、キャンペーンをフォローすることができます。



オーストラリア 対 フランス

セブンズとオリンピックが 完璧にフィットする 7つの理由

スポーティメント

セブンズはテンポが速く爽快な、死力を屈するゲームです。セブンズでは何が起るかわかりません。ボールのパウンドや、爆発的なスピード、タックルのミスなど、一瞬で試合が一転してしまう、その日の試合はやってみるまでわからない競技です。セブンズは、ファンがチームと同じジャージや奇抜なコスチュームを着て応援できる絶好のチャンス。他のスポーツイベントにはない雰囲気を作り出すセブンズは見て楽しめる競技です。

ジェンダー平等とダイバーシティ(多様性)

2016年のリオデジャネイロ五輪では、オリンピックでのラグビーセブンズの道のりは女子大会によって始まりましたが、今回の東京2020五輪大会では「スーパーサタデー」にメダルが決定し、女子大会で幕引きとなります。ワールドラグビーの新戦略計画の重要な要素となっている女子ラグビーはかつてない勢いで成長の一途を辿っており、現在、世界の競技人口の4分の1以上が女性です。また、ワールドラグビーに代わってニールセン社が行った最新の調査によると、女子ラグビーへの関心は、伝統国では45%、新興国では27%にまで上昇しています。

アスレチズム(スポーツ熱)

ラグビーセブンズのプレーヤーは、オリンピックに出場する最も鍛えられたアスリートとなるでしょう。フルサイズのピッチで14分間、速いペースで、止まる事なく行われるこの競技では、各チーム7人のプレーヤーで行われるため、膨大な有酸素運動能力に加え、敏捷性、素早いフットワーク、ペース、パワー、そして相手のディフェンスを破る強さが要求されます。

世界的拡大

2009年10月にラグビーセブンズがオリンピック種目に追加されて以降、ワールドラグビー加盟協会の登録プレーヤー数は370万人から960万人に増加し、そのうち28% (270万人) が女性でした。2016年のリオ五輪では約3,000万人のラグビーファンが新たに誕生しました。また、フィジーの男子代表チームがフィジー初にして金のオリンピックメダルを獲得した歴史的な映像は世界中で放映され、ラグビーをこよなく愛する太平洋諸島の国では、金メダルを持ち帰ったヒーローを熱狂的に祝福しました。

価値

セブンズは家族です。ワールドラグビー・セブンズシリーズでは、チームがピッチ上で激しく競い合う一方で、ホテルを共有したり、マッチオフィシャルと一緒に食事をしたりして、生涯にわたる友情が生まれる特別な環境を作り出しています。ラグビーのコアバリューである品位、尊重、情熱、結束、そして規律は、オリンピックファミリーの価値と完全に一致しています。

日本

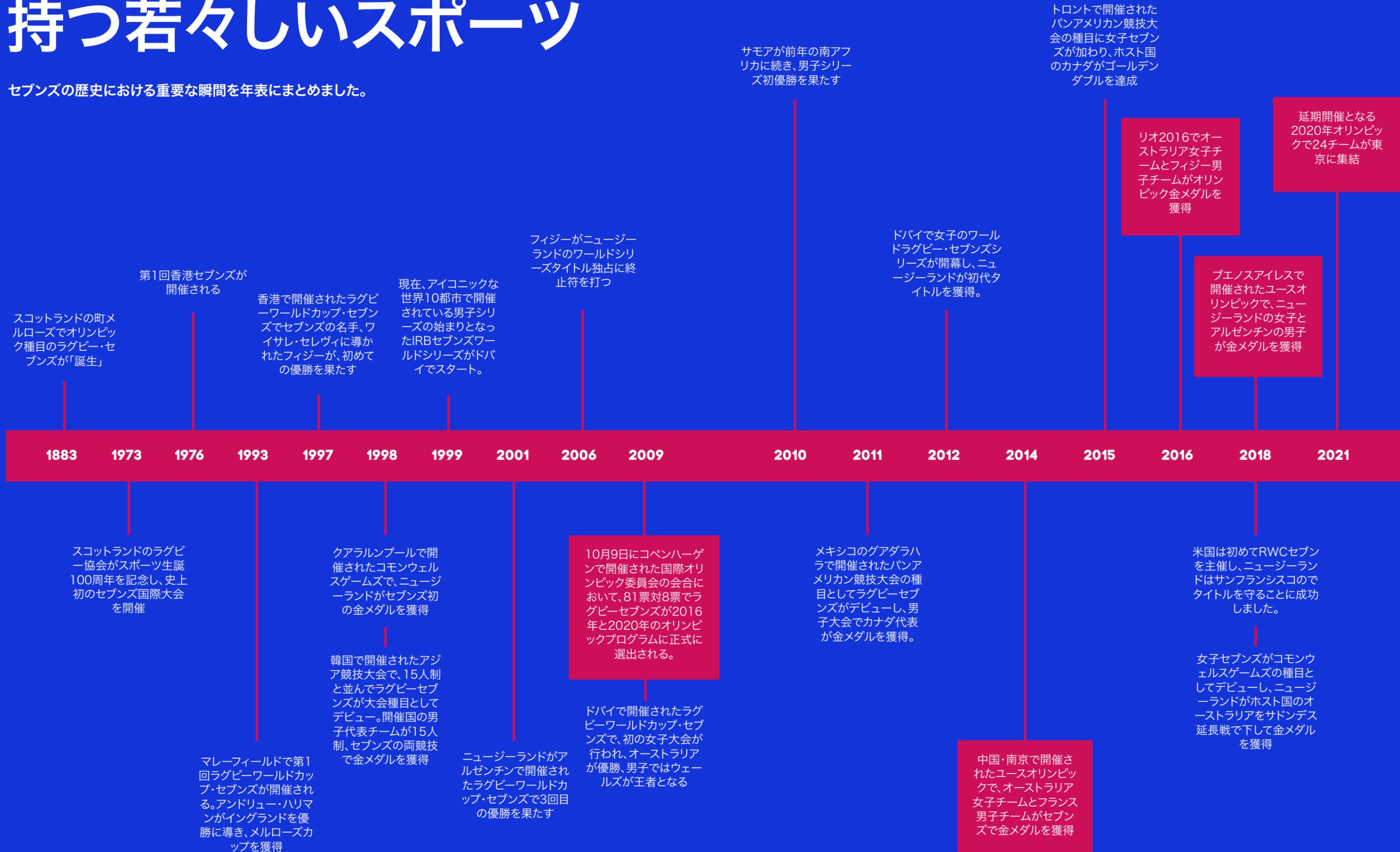
ニュージーランドを破って4位に入賞した日本代表チームは、リオ2016での男子大会の驚きのチームとなりました。ラグビーワールドカップ2019が日本で開催されたことで、東京2020ではより多くのラグビー通の観客が見守り、男女セブンズ日本代表チームへの期待はさらに高まります。この記録的なラグビーワールドカップは日本中でラグビー旋風を巻き起こし、大勢のわかファンを生み出し、「ブレイブ・プロッサムズ」が最も成功を収めたこの大会であらゆる人々を一つにしました。

スターの魅力

張り詰める緊張感とアクション、ファンの参加、そしてワールドクラスのアスリート、という息を呑むような組み合わせで、ラグビーセブンズは世界中の著名なファンを魅了しています。ハリウッド映画の監督、俳優、そして元インド代表選手であるラーフル・ボースはこのスポーツの大ファンで知られ、俳優のマシュー・マコノヒー、クリケット界のスターであるサチン・テンドルカル、宇宙飛行士のバズ・オルドリンも、2016年のリオ五輪でラグビーセブンズを観戦しています。ハリウッド映画界も、フィジー代表の金メダル物語を映画化することについて示唆しています。

セブンズ - 大きな歴史を持つ若々しいスポーツ

セブンズの歴史における重要な瞬間を年表にまとめました。



リオ2016 - ラグビーのゲームチェンジャー

リオ2016への出場権を獲得した男女各12チームは、世界最大のスポーツの舞台で自分たちのスキルとセブンズの魅力を披露しようと意気込んでブラジルに到着しました。

リオ大会で新たに追加された2つの競技のうちの1つであるセブンズは、6日間にわたって世界のスポットライトを浴び、オリンピックの金メダルを目指す世界最高の男子・女子プレーヤーたちが、エネルギー溢れるアクション満載の試合の数々で新たなオーディエンスを魅了しました。

女子大会がセンターステージを飾ってからわずか14秒後、フランスのカミーユ・グラシノー選手がスペインのディフェンスを破ってオリンピック初のトライを決め、大会前から盛り上がっていたセブンズへの期待に大きく応えました。

オーストラリア、ブラジル、カナダ、コロンビア、フィジー、イギリス、日本、ケニア、ニュージーランド、そしてアメリカも、セブンズ初の金メダルを夢見るチームでした。プールステージでは、フィジーがデオドロ・スタジアムで行われたオープニングマッチでアメリカを12-7で逆転した以外は、ほぼ予想通りに進んでいきました。

ワールドラグビーセブンズシリーズのチャンピオンであるオーストラリア、カナダ、イギリス、ニュージーランドのいずれかが準決勝に進出すると思われましたが、ニュージーランドが接戦の末アメリカを5-0で破って準決勝への進出を決めました。そして予想通り、オセアニア地域のライバルも金メダル決定戦へ進出を決めました。

女子セブンズで最も成功してきた2チームがオリンピックの金メダルを目指し、すべてを賭けた試合は、期待を裏切らないものでした。ポーシャ・ウッドマンがシンピンに送られ、オーストラリアは彼女がいなかった間にトライを奪い、合計4本のトライを奪いました。

ニュージーランドは後半に2つのトライを奪い返しましたが、既に時遅し、試合終了のホイッスルが鳴り、24-17でオーストラリアが勝利を収めました。彼女たちはヒーローとなって帰国し、12人の女性から刺激を受けた新世代のプレーヤーたちが生まれ、オーストラリアの女子ラグビーの注目度を高めました。

女子のプールステージが順調に進んだとすれば、男子はまったく予想外の展開となりました。日本は第4試合の終盤で副島亀里ラポウがトライを決め、坂井克行がコンバージョンキックに成功し、大会前に優勝候補の一つだったニュージーランドを14-12で下し、セブンズという競技がいかに予測不可能かを示しました。

続くグレートブリテンとの試合では、コンバージョンに失敗して敗れましたが、ケニアに勝利して準決勝に進出しました。ニュージーランドはわずか1点差でアメリカを破り、なんとか準決勝に進出しました。

優勝候補として人気の高いフィジーを前に日本の挑戦は終わるはずでしたが、南アフリカとグレートブリテンも準決勝に進出し、日本の夢はまだまだ可能性を残していました。グレートブリテンは延長戦でダン・ビビーがサドンデストライを決めて0-0の状況を打破し、アルゼンチンの心を砕きました。

フィジーは準決勝第1試合で日本を20-5で破って確かに歴史に名を刻み、英国は南アフリカとの接戦を7-5で制して勝利しました。フィジーは初めてのオリンピックメダルを獲得しました。セブンズに熱狂的な国が持ち帰るメダルは果たして金か銀か？

その答えはすぐに明らかになりました。フィジーは、フィジーならではの目の覚めるようなラグビーを展開し、2分後にインスピレーションなキャプテン、オセア・コリニサウがタッチダウンした瞬間から、決して戻みすることはありませんでした。最終スコアは43-7で、ラグビーセブンズのオリンピックデビュー戦はおとぎ話のような結末で幕を閉じました。

忘れられないラグビーセブンズの6日間が終わり、ひと段落ついた頃、オリンピックに参加したことによる影響が明らかになりました。それは、リオ2016での露出により、ラグビーに魅了された推定3000万人の新しいファンが生まれた、変革の瞬間でした。

このような成長は、ラグビー伝統国だけでなく、アメリカ、日本、ドイツなどの新興国でも見られました。また、女性や18~24歳の年齢層からの支持が特に顕著で、より若いオーディエンスにリーチすることができた史上最も社会的なセブンズ大会となりました。

数字で見るリオ五輪

0

英国対アルゼンチンの男子準決勝の競技時間内の得点数。延長戦4分43秒でグレートブリテン(イギリス)のダン・ビビーがトライを決め、アルゼンチン人の心を打ち砕いた。

1

フィジーは、2016年8月11日に行われた金メダルマッチでグレートブリテンを43-7で下し、同国初にして金のオリンピックメダルを獲得して歴史を作った。

6

アメリカのスピードスターであるカーリン・アイルズが獲得したトライ数、リオ2016の男子大会で最多。

8

リオ2016でハットトリックを決めた数。男女でそれぞれ4回ずつ。ニュージーランドのポーシャ・ウッドマン選手は、ケニア戦でオリンピック・セブンズ史上初のハットトリックを含む2つのハットトリックを決め、フランスのキャプテン、テリー・ブラフ選手は男子大会の開幕戦で3つのトライを決めた。これ以外にも、オーストラリアのシャーロット・キャスリック(対コロンビア戦)、フランスのリナ・ゲラン(対スペイン戦、5位決定戦)、アメリカのカーリン・アイルズ(対ブラジル戦)、ケニアのビリー・オディアンボ(対ブラジル)、南アフリカのロスコ・スペックマン(対日本、銅メダル決定戦)がハットトリックを決めている。

10

ニュージーランドの飛ぶウィングァー、ポーシャ・ウッドマンが獲得したトライ数、リオ2016の女子セブンズ大会で最多。

12

男女各大会の出場チーム数。10カ国が男女のチームを編成し、男女どちらか1チームのみの出場となった国は、カナダとコロンビア(女子のみ)、アルゼンチンと南アフリカ(男子のみ)。

14

フランスのカミーユ・グラシノー選手がオリンピックラグビーセブンズ史上初のトライを決めた時の秒数、開幕戦でスペインに24-7で勝利する道標を作った。

54

リオ2016での試合で1チームが獲得した最多得点 - 南アフリカの男子代表が日本を破った3位決定戦で獲得した得点数(54-14)。

175

リオ2016での男子大会全34試合でのトライ総数、うちコンバージョンが成功したのは113トライ。

180

リオ2016の女子大会全34試合でのトライ総数、うちコンバージョンが成功したのは96トライ。

1,095

リオ2016の女子大会34試合での総得点(うち166点は金メダリスト、オーストラリアの得点)。

「数字で見るリオ五輪」の続きは、[こちら](#)をクリックしてください。

ラグビーとオリンピック

15人制ラグビーでアメリカがフランスを17-3で破り金メダルを獲得した1924年のパリ五輪以来、92年間も姿を消していたラグビー。2016年のリオ五輪でセブンズがデビューを果たし、ラグビーというスポーツがオリンピックの種目から消えていたことに終止符が打たれました。

近代オリンピックの創始者であるピエール・ド・クーベルタン男爵は、ラグビーの熱心なサポーターであり、1924年の大会は、1900年、1908年、1920年に続き、ラグビーがオリンピック競技に採用された4回目の大会でした。

残念なことに、1925年に彼が国際オリンピック委員会の会長職を終えた後、ラグビーはオリンピック競技から外され、オリンピックのラグビーの現役チャンピオンは誰かというトリビアクイズの答えが「アメリカ」という予想外の答えとなりました。

ラグビーを再びオリンピックと結びつける努力が始まったのは1990年代に入ってからで、1994年にカーディフで国際ラグビー評議会（現在のワールドラグビー）が国際オリンピック委員会（IOC）の公認国際競技連盟に認定されたことが大きな一歩となりました。

2001年、オリンピック・プログラム委員会は、2008年の北京オリンピックにラグビーを追加すべきだとIOC総会に勧告しました。しかし、残念ながら、オリンピック競技の近代化に関する提言は実行されませんでした。

ラグビーは2012年のロンドン大会でも追加種目の候補に挙がっていましたが、IOCは新規種目の追加を行わず、ラグビーのオリンピック復帰という目標はもどかしくも実現しませんでした。

2007年10月にワールドラグビーの会長に選出されたベルナルド・ラバセ会長はその時、ラグビーのオリンピックプログラム復帰を最優先事項の一つとして掲げました。2009年には、国際連盟、加盟協会、リージョナル協会、そしてラグビーファミリーが一丸となってキャンペーンを展開した結果、ラグビーは2016年と2020年のオリンピック競技としての候補に再び選ばれました。

コペンハーゲンで開催された第121回IOC総会では、ニュージーランド代表のジョナ・ロムー、オーストラリア代表のシェリル・スン、ケニア代表のハンフリー・カヤンゲ、アルゼンチン代表のアグスティン・ピョット、カザフスタン代表のアナスタシア・カモバがラバセ会長とともに、ラグビーセブンズの採用をIOC委員に提案しました。

賛成票が81票、反対票は8票と圧倒的多数で賛成となり、男女のトップ選手がオリンピックの金メダルを目指して戦うことができるようになり、2009年10月9日はラグビーの歴史上重要な日となりました。

ラグビーセブンズは2014年に中国・南京で開催されたユースオリンピックでも採用され、オーストラリアの女子代表とフランスの男子代表が金メダルを獲得しました。2年後の2016年に開催されたリオ五輪では、オーストラリア女子がニュージーランドを破って金メダルを獲得し、フィジー男子がイギリスを破って同国初にして金のオリンピックメダルを獲得するなど、デオドロ・スタジアムに詰めかけた大観客の前で大成功を収めました。

リオ2016でラグビーが採用されたことは、スポーツに大きな影響を与え、全世界で推定3,000万人の新規ファンを獲得しました。2019年に記録的なラグビーワールドカップを成功させた日本で開催する「東京2020」では、ラグビーをさらに発展させることが期待されています。

詳しくは、WWW.WORLD.RUGBY/OLYMPICSをご覧ください。



東京2020チーム

東京2020大会では、男子・女子それぞれ12チームが出場します。

男子



アルゼンチン



オーストラリア



カナダ



フィジー



グレートブリテン



アイルランド



日本



ケニア



ニュージーランド



大韓民国



南アフリカ



アメリカ合衆国

女子



オーストラリア



ブラジル



カナダ



中国



フィジー



フランス



グレートブリテン



日本



ケニア



ニュージーランド



ロシアオリンピック委員会



アメリカ合衆国

東京への道 - 各チームが 出場権を獲得するまで

東京2020大会に出場する24チームは様々なルートで予選を通過し出場権を獲得し、まず開催国である日本の男女各代表チームが出場を決めました。

次にワールドラグビー・セブンズシリーズ2019での男女各上位4チームが東京への切符を手に入れました。男子シリーズではチャンピオンのフィジー、アメリカ合衆国、ニュージーランド、南アフリカが、女子シリーズではチャンピオンのニュージーランド、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアがトップ4に入りました。

その後、予選はワールドラグビーのリージョナルアソシエーションに移行し、各地区から男女各1チームに出場権が与えられました。ただし北米地区は例外で、アメリカ合衆国とカナダがシリーズ戦で予選を通過した後、女子の直接出場権はありませんでした。その代わり、上位2チームが東京行きのチケット2枚をかけた敗者復活戦に出場することになりました。

この地区予選では、アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、グレートブリテン(イギリス)、ケニア、韓国が東京で開催される男子大会へ出場権を獲得しましたが、後者は延長戦でサドンデス・トライを決めてアジア予選を勝ち抜きました。

女子の地区予選では、ブラジル、中国、フィジー、グレートブリテン(イギリス)、ケニアが東京行きのチケットを獲得しました。中国は、男子のカナダと韓国と同様に、2016年のリオ五輪出場を逃していたので、今回オリンピックデビューを果たすことになります。

この結果、オリンピック出場枠は残すところ男子1、女子2チームとなり、6月18日から20日にかけてモナコのスタッド・ルイ・ドゥで開催されたワールドラグビー・セブンズ主催の敗者復活戦大会でその最終枠を争いました。敗者復活戦大会には、男子9チーム、女子11チームが参加し、予選落ちしたチームのうち、各地区大会予選で2位と3位のチームが招待されました。

モナコのアルペール2世殿下がスタンドで見守る中、3日間で40試合を終えた結果、東京行きのチケットを予約した3チームは、女子はフランスとロシア、男子はアイルランドでした。

フランスとロシアは、ワールドシリーズに参加する唯一のコアチームとして、この大会に強い期待を寄せていました。そして、その期待に応えるように、予選決勝では香港(51-0)とカザフスタン(38-0)をそれぞれ破りました。フランスは5試合で奪われたトライを0に抑え、一方ロシアはアルゼンチンのソフィア・ゴンザレスに一度だけラインを破られました。

男子では、シリーズの3チームが1つの順位を争うという難しい戦いとなりました。フランスとアイルランドはブルを勝ち抜き、準決勝でそれぞれサモアと香港を破って決勝戦に臨みました。前半ではフランスがリードしていましたが、ジョーダン・コンロイの素早い2トライで試合を優位に進め、28-19でアイルランドが勝利しました。

フランスはリオ2016に出場していますが、ロシアとアイルランドは今回がオリンピックデビューとなります。

試合会場

東京2020大会のラグビーセブンズ競技は、2021年7月26日から31日まで東京スタジアムで行われます。

男子は7月26日～28日、女子は7月29日～31日に行われ、メダルの授与は「スーパーサタデー」に行われます。

東京スタジアムは、ラグビーワールドカップ2019が日本で開催された際に会場のひとつとして使用されたこともあり、ラグビーとは縁の深い場所です。

日本がロシアを30-10で下した開幕戦や、ニュージーランドがウェールズを40-17で破った3位決定戦など、この記録的な大会での9試合が東京スタジアムで行われました。

東京スタジアムでは、大会期間中、サッカーと近代五種も行われます。

東京スタジアム



フィジー 対 オーストラリア

プール組分け

ワールドラグビーは6月28日、モナコで行われた敗者復活戦を経て東京2020に出場する最後の3チームが決定したことを受けて、プール組分けの発表を行いました。

本大会のシード権については、2018/19シーズンと2019/20シーズンで蓄積されたワールドラグビー・セブンズシリーズでの得点数に基づいて行われます。

2019年シリーズの成績により自動的に出場権を得た4チームはトップ4シードに入ることが保証されており、その順位は2つのシリーズでのそれぞれの順位によって決定されます。

男子または女子のワールドラグビーセブンズシリーズのコアチームではないチームについては、2シーズンにわたるシリーズトーナメント、またはシリーズ予選や地区大会などのワールドラグビー公認の大会における各チームのパフォーマンスを分析し、ワールドラグビーがシード権を決定しました。

男子 - 7月26日~28日

プール A	プール B	プール C
ニュージーランド*	フィジー *	南アフリカ*
オーストラリア*	グレートブリテン(イギリス)	アメリカ合衆国 *
アルゼンチン *	カナダ *	ケニア *
大韓民国	日本*	アイルランド *

女子 - 7月29日~31日

プール A	プール B	プール C
ニュージーランド*	カナダ *	オーストラリア *
ロシア・オリンピック委員会*	フランス *	アメリカ合衆国 *
グレートブリテン(イギリス)	フィジー*	中国
ケニア	ブラジル *	日本

* = core team on 2021 Series

東京2020：速射砲セブンズ

1

リオで初めて金メダルを獲得したフィジーが、黄金のダブル達成を目指す

5

オーストラリアのゴールデンガールは、東京でオリンピックタイトルを守るために戻ってきた

6

「ラグビーワールドカップ2019日本大会」でも活躍したプレーヤーたちが戻ってきた

73

リオ2016にも出場し、東京での2度目のオリンピックに帰ってくる オリンピアンたち

3

ワールドラグビー女子セブンズのプレーヤー・オブ・ザ・イヤーに輝いたニュージーランド代表プレーヤーたち(ポーシャ・ウッドマン(2015年受賞)、ミケセラ・ブライド(2017&2018年受賞)、ルビー・ツイ(2019年受賞))

5

東京2020でオリンピックデビューするチーム、女子では中国とロシアオリンピック委員会、男子ではカナダ、アイルランド、韓国

5

サンティアゴ・ゴメス・コーラ(アルゼンチン男子)、デビッド・クールテュー(フランス女子)、マイク・フライデー(アメリカ男子)、ニール・パウエル(南アフリカ男子)の4人が同じチームで2回目のオリンピック出場を果たすコーチ陣。ティム・ウォルシュは、リオ五輪でオーストラリア女子チームを金メダルに導いた後、現在、同国の男子チームを指揮している。

3

ワールドラグビー男子セブンズの「プレーヤー・オブ・ザ・ヤー」が東京2020大会出場のスコードから選出される。

16

東京2020大会に出場する24チームが代表する国の数

156

東京2020で男女それぞれの大会に参加するプレーヤーの数



ニュージーランド 対 日本

チームプロフィール - 男子

東京2020で金メダルをかけて戦う男子12チームを詳しく紹介します。



アルゼンチン

リオ2016:6位
東京2020シード権:7

コーチ:サンティアゴ・ゴメス・コーラ (Santiago Gomez Cora)
キャプテン:サンティアゴ・アルバレス
愛称:ロス・プーマス・セブンス

2020年シリーズの順位:9位
2020年シリーズでの最多トライ/最多得点選手:マティアス・オサジック(16トライ)/サンティアゴ・マレー(106点)

ご存知でしたか?
アルゼンチンは、リオ2016で、準々決勝に進みグレートブリテン(イギリス)と対戦しましたが、この試合は、両者無得点のまま通常競技時間が終了した唯一の試合でした。延長戦でダン・ビビーのトライを許し、アルゼンチンのメダルへの望みが絶たれました。

注目すべきプレーヤー:マティアス・オサジック
アルゼンチンの2020年シリーズでの最多トライ選手となったオサジック選手は、自国のU20チームとセブンスチームでプレーした選手で、2016年12月、19歳の時に出場した7人制代表チームでのデビュー戦では、ウェールズを相手に2トライを奪う快挙を遂げました。

スコッドメンバー

サンティアゴ・アルヴァレス(キャプテン) (Santiago Alvarez)
ラウタロ・バザン・バレス (Lautaro Bazan Velez)
ルシオ・シンティ(Lucio Cinti)
ロドリゴ・エチャート^ (Rodrigo Etchart)
ルシアーノ・ゴンザレス (Luciano Gonzalez)
サンティアゴ・マレー (Santiago Mare)
イグナシオ・メンディ (Ignacio Mendy)
マルコス・モネタ (Marcos Moneta)
マティアス・オサジック (Matias Osadczuk)
ガストン・レヴォル^ (Gaston Revol)
ヘルマン・シュルツ (German Schulz)
フェリペ・デルメストレ (Felipe del Mestre)

2021年7月14日時点のスコッド。^はリオ2016に出場したチーム



オーストラリア

リオ2016:8位
東京2020シード権:6

コーチ:ティム・ウォルシュ (Tim Walsh)
キャプテン:ニック・マルーフ

2020年シリーズ順位:4位
2020年シリーズでの最多トライ/最多得点選手:ラシー・アンダーソン(16トライ)/ルイス・ホランド(125点)

ご存知でしたか?
ティム・ウォルシュは、リオ2016でオーストラリア女子を歴史的な金メダルに導いた後、2018年4月に男子チームのコーチを引き継いだことで、自身のオリンピックダブルを狙っています。

注目すべきプレーヤー:サム・ケレヴィ
ケレヴィ選手は過去2年間、日本のトップリーグ「サントリー・サンゴリアス」でプレーしていましたが、東京2020から2ヶ月も経たないうちにセブンスの選手として名乗りを上げました。まだセブンスの国際試合には出場していませんが、フィジー生まれのパワーハウス、ケレヴィ選手は、選ばれればオーストラリアにとって大きなインパクトを与える選手となるでしょう。

スコッドメンバー

ラシー・アンダーソン (Lachlan Anderson)
ジョシュ・カワード (Josh Coward)
ヘンリー・ハッチンソン^ (Henry Hutchison)
サム・ケレヴィ (Samu Kerevi)
モーリス・ロングボトム (Maurice Longbottom)
ニック・マルーフ(キャプテン)^ (Nick Malouf)
ラシー・ミラー (Lachie Miller)
ディラン・ピーチ (Dylan Pietsch)
ジョー・ピンカス (Joe Pincus)
ディートリッヒ・ローチェ (Dietrich Roache)
ジョシュ・ターナー (Josh Turner)
ルイス・ホランド (Lewis Holland)
ネイサン・ローソン (Nathan Lawson)



カナダ

リオ2016:予選落ち
東京2020シード権:9

コーチ:ヘンリー・ポール(ニュージーランド) (Henry Paul)
共同キャプテン:ネイサン・ヒラヤマ、ハリー・ジョーンズ

ご存知でしたか?

カナダは、2017年4月のシガポールカップ決勝でアメリカを26-19で破り、この年のワールドラグビー・男子セブンズシリーズで12番目にして最後の大会初優勝を果たしました。

注目すべきプレーヤー:

ネイサン・ヒラヤマ
日本人の血を引くヒラヤマ選手は、ピッチ上ではリーダーシップを発揮し、ピッチの外では周囲の人々に模範を示しながら士気を高め、2020年のバンクーバー大会でカナダを銅メダルに導きました。カナダで最もキャップ数の多い選手であり、シリーズ最多得点記録を持っています。

スコットメンバー

フィル・バーナ(Phil Berna)
コナー・ブレイド(Connor Braid)
アンドリュー・コー(Andrew Coe)
ジャスティン・ダグラス(Justin Douglas)
マイク・フールファウ(Mike Fuailefau)
ルーカス・ハモンド(Lucas Hammond)
ネイサン・ヒラヤマ(共同キャプテン)(Nathan Hirayama)
ハリー・ジョーンズ(共同キャプテン)(Harry Jones)
パトリック・ケイ(Patrick Kay)
マット・マリンス(Matt Mullins)
テオ・サウダー(Theo Sauder)
ジェイク・ティール(Jake Thiel)
コナー・トレイナー(Conor Trainor)



フィジー

リオ2016:金メダル
東京2020シード権:2

コーチ:ガレス・ベイバー(グレートブリテン) (Gareth Baber)
キャプテン:ジェリー・ツワイ

2020年シリーズ順位:3位

2020年シリーズ優勝回数:1(シドニー大会)

2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手:アミアシ・ツイマバ(20トライ)/ナポリオニ・ボラカ(159点)

ご存知でしたか?

リオでフィジー史上初となるカラーのオリンピックメダルを獲得して以来、フィジーのセブンズスターたちは、ワールドラグビー・セブンズシリーズで他国よりも多くのタイトルを獲得しています。

注目すべきプレーヤー:

ジェリー・ツワイ
フィジーは素晴らしいセブンズプレーヤーに恵まれています。ツワイ選手は巨匠ワイサレ・セレヴィと同列に語られてもおかしくありません。小柄な体格ながら、その視野の広さ、フットワーク、そしてオフロードの技術でファンの人気を集め、昨年12月には「ワールドラグビー・男子セブンズ・プレーヤー・オブ・ザ・ディケード」に選ばれました。

スコットメンバー

ヴィリモニ・ボテツ(Vilimoni Botitu)
ナポリオニ・ボラカ(Napolioni Bolaca)
メレ・デレナラギ(Meli Derenalagi)
イオセフォ・マシ(Iosefo Masi)
ワイセア・ナクグ(Waisea Nacuqu)
カリオネ・ナソコ(Kalione Nasoko)
セミ・ラドラドラ(Semi Radradra)
アミアシ・ツイマバ(Aminiasi Tuimaba)
アサエリ・ツイヴァカ(Asaeli Tuivuaka)
ジェリー・ツワイ(キャプテン)^ (Jerry Tuwai)
ジョシュア・ヴァクラナビリ(Josua Vakuranabili)
ジウタ・ワイニコロ(Jiuta Wainiqolo)

トラベリングリザーブ:

シレリ・マカラ、キティオネ・タリカ、ジョセヴァ・タラコ
口、カヴェキニ・タブ(Sireli Maqala, Kitione Taliqa, Joseva Talacolo, Kavekini Tabu)



グレートブリテン

リオ2016:銀メダル
東京2020シード権:5

コーチ:トニー・ロックス(Tony Roques)
キャプテン:トム・ミッチェル

2020シリーズ順位:5位

2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手:ダン・ノートン(16トライ, 80点)

ご存知でしたか?

リオ2016の銀メダリストでもあるグレートブリテンのアシスタントコーチ、ジェームズ・ロドウェルは、ワールドラグビー・セブンズシリーズで93大会に出場し、歴代最多キャップ数を誇るプレーヤーです。

注目すべきプレーヤー:

ダン・ノートン
イングランドの赤いバラを身にまとい10年以上になるもう一人のプレーヤー、ノートン選手はセブンズシリーズ史上最多の354トライを記録しており、33歳になった今でも他を寄せ付けないペースを持っています。ファンの間でも人気の高いノートンは、シリーズ通算90大会出場を達成した3人の選手のうちの1人です。



アイルランド

リオ2016:不参加
東京2020シード権:10

コーチ:アンソニー・エディー(オーストラリア) (Anthony Eddy)
キャプテン:ビリー・ダーディス

2020シリーズ順位:10位

2020シリーズ最多トライ/最多得点選手:ジョーダン・コンロイ(30トライ, 150点)

ご存知でしたか?

アイルランドは、正式なセブンズプログラムが導入されてからわずか6年で東京2020への出場権を獲得しました。

注目すべきプレーヤー:

ジョーダン・コンロイ
元スプリンターであるコンロイは、セブンズにおける驚異的なトライスコアラーとして瞬く間に有名になり、2020年に初参加となったワールドシリーズで30トライを挙げ、コアチームとして終了しました。コンロイ選手はその軽快な動きと、テリー・ケネディ選手とのテレパシーのようなやりとりで、敗者復活戦でも10トライを挙げ、2020年の東京大会への切符を手に入れました。

スコットメンバー

ダン・ビビー^ (Dan Bibby)
アレック・クームズ (Alec Coombes)
アレックス・デイビス (Alex Davis)
ロビー・ファーガソン (Robbie Fergusson)
ハリー・グローバー (Harry Glover)
ベン・ハリス (Ben Harris)
オリリー・リンゼー・ヘイグ^ (Ollie Lindsay-Hague)
ロス・マッカーン(Ross McCann)
マックス・マックファーランド(Max McFarland)
トム・ミッチェル(キャプテン)^ (Tom Mitchell)
ダン・ノートン^ (Dan Norton)
イーサン・ワドルトン (Ethan Waddleton)
トム・ボーウェン (Tom Bowen)

スコットメンバー

ジョーダン・コンロイ(Jordan Conroy)
ビリー・ダーディス(キャプテン)(Billy Dardis)
イアン・フィッツパトリック(Ian Fitzpatrick)
フォスター・ホーラン (Foster Horan)
ジャック・ケリー (Jack Kelly)
テリー・ケネディー(Terry Kennedy)
アダム・リーヴィー(Adam Leavy)
ヒューゴ・レノックス (Hugo Lennox)
ハリー・マックナルティ (Harry McNulty)
ギャヴィン・マリン (Gavin Mullin)
グレッグ・オシーア (Greg O'Shea)
マーク・ロッシュ (Mark Roche)
ブライアン・モレン (Bryan Mollen)



日本

リオ2016: 4位
東京2020シード権: 11

コーチ: 岩淵健輔
キャプテン: 松井千士(マツイ・チヒト)

2020シリーズ順位: 16位
2020シリーズ最多トライ/最多得点選手: 林大成(4トライ)/加納遼大(27点)

ご存知でしたか?
日本は、酒井克行選手がカメリ・ララボウ・ソエジマ選手のトライをコンバージョンして、お決まりのシナリオを書き換え、ニュージーランドを14-12で下すという快挙を成し遂げ、リオでのオリンピックデビューを満喫しました。

注目すべきプレーヤー: 石田 吉平
2018年のユースオリンピックで銅メダルを獲得した石田選手は、ここ数年で日本からチャンスを与えられた数多くの若手選手の一人です。彼は2021年のシリーズで日本がコアチームに復帰すること貢献し、21歳にして代表チームにレギュラー入りすることが期待されています。



ケニア

リオ 2016: 11位
東京 2020 シード権: 9

コーチ: イノセント・シミュ (Innocent Simiyu)
キャプテン: アンドリュー・アモンデ
愛称: スジャー・セブンズ

2020年シリーズ順位: 12位
2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手: ヴィンセント・オンヤラ(13トライ, 65点)

ご存知でしたか?
ケニアのハンフリー・カヤング選手は、2009年のIOC会合に出席し、ラグビーのオリンピック種目追加の提案を行った選手団の一人でした。リオ2016では弟のコリンズ・インジェラ選手と一緒に出場しました。

注目すべきプレーヤー: コリンズ・インジェラ
2007年にケニア代表チームデビューして以来、ケニアチームの主力プレーヤーとして活躍してきたインジェラは、シリーズ史上2番目に多い279トライを記録しています。そろそろケニア代表のジャージを脱ぐ時期に近づき、若干スピードは落ちてきてもいいかもしれませんが、彼はトライラインへの到達方法を知っており、次の世代に刺激を与え続けています。

スコッドメンバー

- ボーク・コリン
- 藤田慶和
- 羽野一志[^]
- ヘンリーブラッキン
- 彦坂匡克
- 石田吉平
- 加納遼大
- 松井千士(キャプテン)
- 本村直樹
- 副島亀里ララボウラティアナラ[^]
- セルジョセ
- トゥキリロテ[^]
- 合谷和弘[^]

スコッドメンバー

- エデン・アジェロ (Eden Agero)
- ウィリー・アンバカ[^] (Willy Ambaka)
- アンドリュー・アモンデ(キャプテン) (Andrew Amonde)
- ハーマン・フムワ (Herman Humwa)
- コリンズ・インジェラ[^] (Collins Injera)
- ジャコブ・オージー (Jacob Ojee)
- ジョンストン・オリンディ (Johnstone Olindi)
- ジェフリー・オルオチ (Jeffrey Oluoch)
- ビンセント・オンヤラ (Vincent Onyala)
- アルビン・オティエノ (Alvin Otieno)
- ネルソン・オヨー (Nelson Oyoo)
- ダニエル・ターブ (Daniel Taabu)



ニュージーランド

リオ 2016: 5位
東京2020 シード権: 1

コーチ: クラーク・レイドロー(グレートブリテン) (Clark Laidlaw)
共同キャプテン: スコット・キャリー、ティム・ミッケルソン
愛称: オールブラックス・セブンズ

2020年シリーズ順位: 1位
2020年シリーズ優勝: 3 (ケープタウン, ハミルトン, バンクーバー)
2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手: ティム・ミッケルソン(15トライ) / アンドリュー・ニュースタブ (100点)

ご存知でしたか?
ニュージーランドは、ワールドラグビー・セブンズシリーズの歴史の中で最も成功を収めているチームであり、21のタイトルのうち13を獲得しています。しかし、2020年のタイトルは、2013/14年のシリーズ以来のものでした。

注目すべきプレーヤー: カート・ベイカー
RWCセブンズで2回、コモンウェルスゲームで2回の金メダルを獲得したベイカーは、ピッチ内外で有名なニュージーランド代表のシニアメンバーの一人です。2016年のリオデジャネイロ大会の代表には選ばれませんでした。ニュージーランドが東京でメダルを獲得するためには、彼の巧みなフットワークと強力なディフェンスが鍵となります。



大韓民国

リオ 2016: 該当なし
東京 2020 シード権: 12

共同コーチ: チャールズ・ロウ、スー・チュン・オー (Charles Louw and Seo Chun Oh)
キャプテン: パーク・ワンヨン

2020年シリーズ順位: 17位 (1大会)
2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手: ジャン・ヨンミン (Jang Jeongmin) (3トライ, 17点)

ご存知でしたか?
韓国は、アジア地区予選で香港と対戦し、延長戦の末にチャン・スンミンがフィールドを独走してトライを決めるという劇的なサドンデスで2020年東京大会への出場権を手に入れました。

注目すべきプレーヤー: 張ジョンミン
大韓民国は、東京2020に参加するチームの中で最もワールドシリーズの経験が少ないチームかもしれませんが、張選手は、中国との予選準決勝の最後のプレーで勝ち越しトライを決めるなど、大舞台に強い選手です。2020年のロサンゼルス大会では、アルゼンチン戦、フランス戦で3トライを決めています。

スコッドメンバー

- ティム・ミッケルソン(共同キャプテン)[^] (Tim Mikkelsen)
- スコット・カーリー(共同キャプテン)[^] (Scott Curry)
- ディラン・コリヤー (Dylan Collier)
- トネ・ン・シウ (Tone Ng Shiu)
- サム・ディクソン[^] (Sam Dickson)
- アンドリュー・ニュースタブ (Andrew Knewstubb)
- ナロヒ・マックパーヴィー=ブラック (Ngarohi McGarvey-Black)
- シオネ・モリア (Sione Molia)
- カート・ベイカー (Kurt Baker)
- ジョー・ウェバー[^] (Joe Webber)
- エテネ・ナナイ=セツロ (Etene Nanai-Seturo)
- レーガン・ウェア[^] (Regan Ware)

トラベリングリザーブ: ウィリアム・ウォーブリック、ケイレブ・クラーク、アマナキ・ニコル (William Warbrick, Caleb Clarke, Amanaki Nicole)

スコッドメンバー

- 張容興 (Chang Yongheung)
- 張ジョンミン (Jang Jeongmin)
- ジョン・イエオンシク (Jeong Yeonsik)
- 金ヒョンス (Kim Hyunsoo)
- 韓建圭 (Han Kunkyu)
- 金南郁 (Kim Namyuk)
- 李ソンベ (Lee Seongbae)
- 朴玩龍(キャプテン) (Park Wangyong)
- 李ジンギョ (Lee Jinkyu)
- アンドレ・ジン・コキラード (Andre Jin Coquillard)
- 張成民 (Jang Seongmin)
- 金グオンミン (Kim Gwong Min)
- チェ・ソンドク (Choi Seongdeok)



南アフリカ

リオ2016: 銅メダル
東京2020 シード権: 3

コーチ: ニール・パウエル (Neil Powell)
キャプテン: シヴィエ・ソイズワピ
愛称: プリッツボックス

2020年シリーズ順位: 2位
2020年シリーズ優勝: 2 (ドバイ, ロサンジェルス)
2020年シリーズ最多トライ / 最多得点選手: アンジェロ・デービーズ (16 トライ) / セルヴィン・デービーズ (109 点)

ご存知でしたか?
リオ2016で銅メダルを獲得した南アフリカチームで活躍したチェスリン・コルベ選手とクワガ・スミス選手の2人は、日本で開催されたラグビーワールドカップ2019でも活躍し、スプリングボクスの優勝に貢献しました。

注目すべきプレイヤー: JC・プレトリウス
2019年2月にシドニーでデビューしたばかりのプレトリウス選手ですが、そのパフォーマンスですぐにニール・パウエルヘッドコーチのチームシートの最初に名前が載るようになり、2020年シリーズのドリームチームに選ばれた



アメリカ合衆国

リオ2016: 9位
東京2020 シード権: 4
愛称: 男子イーグルス・セブンズ

コーチ: マイク・フライデー(グレートブリテン) (Mike Friday)
キャプテン: マディソン・ヒュース

2020年シリーズ順位: 7位
2020年シリーズ最多トライ / 最多得点選手: カーリン・アイルズ (22 トライ110 点)

ご存知でしたか?
ニューイングランド・ペイトリオッツでスーパーボウルで3回優勝しているネイト・エブナーは、2016年のリオではチームUSAの一員として活躍し、2021年には2度目のオリンピックを目指してチームに再合流しました。

注目すべきプレイヤー: カーリン・アイルズ
リオ2016で6トライを挙げて得点王となった元スプリンターのカーリン・アイルズは、2020年3月、自国のグラウンドで、アメリカ人プレイヤーとして最初にワールドシリーズで200トライを達成し、同じスピードスターのペリー・ベイカーとのこの記録を打ち立てる競争に勝ちました。瞬きをしていると、彼を見逃してしまいますよ。

スコッドメンバー

クリス・ドライ(Chris Dry)
サコ・マカタ (Sako Makata)
インピ・ヴィッサー (Impi Visser)
ザイン・デービーズ (Zain Davids)
アンジェロ・デービーズ (Angelo Davids)
JC プレトリウス (JC Pretorius)
ブランコ・ドゥプレズ (Branco du Preez)
セルヴィン・デービーズ (Selvyn Davids)
ジャスティン・ヘダルド^ (Justin Geduld)
カート=リー・アレンゼ (Kurt-Lee Arendse)
シヴィエ・ソイズワピ (キャプテン) (Siviwe Soyizwapi)
ステッドマン・ガンズ (Stedman Gans)
ロナルド・ブラウン (Ronald Brown)

スコッドメンバー

ペリー・ベイカー^ (Perry Baker)
ダニー・バレット^ (Danny Barrett)
マセオ・ブラウン (Maceo Brown)
マディソン・ヒュース (キャプテン)^ (Madison Hughes)
マーティン・イオセフォ (Martin Iosefo) ^
カーリン・アイルズ^ (Carlin Isles)
マタイ・レウタ (Matai Leuta)
フォラウ・ニウア^ (Folau Niua)
ジョー・シュローダー (Joe Schroeder)
スティーブン・トマシン (Stephen Tomasin)
ケヴォン・ウィリアムズ (Kevon Williams)
ブレット・トンプソン (Brett Thompson)



フィジー 対 ニュージーランド

試合日程 男子

1日目 - 2021年7月26日 - 東京

■	試合	チーム1	スコア	チーム2	ノックアウト
1	プール B	フィジー	-	日本	09:00
2	プール B	グレートブリテン	-	カナダ	09:30
3	プール A	ニュージーランド	-	大韓民国	10:00
4	プール A	オーストラリア	-	アルゼンチン	10:30
5	プール C	南アフリカ	-	アイルランド	11:00
6	プール C	アメリカ合衆国	-	ケニア	11:30
7	プール B	グレートブリテン	-	日本	16:30
8	プール B	フィジー	-	カナダ	17:00
9	プール A	ニュージーランド	-	アルゼンチン	17:30
10	プール A	オーストラリア	-	大韓民国	18:00
11	プール C	アメリカ合衆国	-	アイルランド	18:30
12	プール C	南アフリカ	-	ケニア	19:00

2日目 - 2021年7月27日 - 東京

■	試合	チーム1	スコア	チーム2	ノックアウト
13	プール B	カナダ	-	日本	09:00
14	プール B	フィジー	-	グレートブリテン	09:30
15	プール A	アルゼンチン	-	大韓民国	10:00
16	プール A	ニュージーランド	-	オーストラリア	10:30
17	プール C	ケニア	-	アイルランド	11:00
18	プール C	南アフリカ	-	アメリカ合衆国	11:30
19	9位決定戦準決勝1	3位中3番目	-	4位中3番目	16:30
20	9位決定戦準決勝2	4位中ベスト	-	4位中2番目	17:00
21	メダル準々決勝1	1位プールA	-	3位中2番目	17:30
22	メダル準々決勝2	2位プールB	-	2位プールC	18:00
23	メダル準々決勝3	1位プールC	-	2位プールA	18:30
24	メダル準々決勝4	1位プールB	-	3位中ベスト	19:00

3日目 - 2021年7月28日 - 東京

番	試合	チーム1	スコア	チーム2	ノックアウト
25	11位決定戦	敗者 #19	-	敗者 #20	09:00
26	9位決定戦準決勝1	勝者 #19	-	勝者 #20	09:30
27	5位決定戦準決勝1	敗者 #21	-	敗者 #22	10:00
28	5位決定戦準決勝2	敗者 #23	-	敗者 #24	10:30
29	メダル決定戦準決勝1	勝者 #21	-	勝者 #22	11:00
30	メダル決定戦準決勝2	勝者 #23	-	勝者 #24	11:30
表彰式 18:30					
31	7位決定戦	敗者 #27	-	敗者 #28	16:30
32	5位決定戦	勝者 #27	-	勝者 #28	17:00
33	銅メダル決定戦	敗者 #29	-	敗者 #30	17:30
34	金メダル決定戦	勝者 #29	-	勝者 #30	18:00



フィジー

金メダリスト

女子スコッド

東京2020で金メダルをかけて戦う女子12チームを詳しく紹介します。



オーストラリア

リオ2016:金メダル
東京2020シードz権:3

コーチ:ジョン・マネンティ (John Manenti)
共同キャプテン:シャノン・パリー、シャーニ・ウィリアムズ

2020年シリーズ順位:2位
2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手:エリア・グリーン
(26トライ、164点)

ご存知でしたか?
シャーニ・ウィリアムズ、シャノン・パリー、シャーロット・キャスリック、エヴァニア・ペリティ、エマ・トネガトの5人は、リオで活躍したオーストラリアのゴールデンガールズであり、東京でもその大活躍を再現するつもりです。

注目すべきプレーヤー: シャーロット・カスリック
彼女のトレードマークである編み込みやリボンを真似するオーストラリアの少女たちの姿は、ピッチ内外での彼女の影響力を物語っています。オーストラリアがゴールデンガールズを達成するためには、天性の才能とディフェンスを打ち破る視野の広さを持つ彼女が最高のパフォーマンスを発揮する必要があります。

スコッドメンバー

シャノン・パリー (共同キャプテン)^ (Shannon Parry)
シャーニ・ウィリアムズ (共同キャプテン)^ (Sharni Williams)
フェイス・ネイサン (Faith Nathan)
ドミニク・ドットア (Dominique du Toit)
エマ・トネガト^ (Emma Tonegato)
エヴァニア・ペリティ^ (Evania Pelite)
シャーロット・キャスリック^ (Charlotte Caslick)
マディソン・アシュビー (Madison Ashby)
ティア・ハインズ (Tia Hinds)
サリア・パキ (Sariah Paki)
デミ・ヘイズ (Demi Hayes)
マディソン・リーバイ (Madison Levi)
アリシア・レファウ・ファカオシレア (Alysia Lefau-Fakaosilea)



ブラジル

リオ2016:9位
東京2020シード権:11

コーチ:ウィル・ブローデリック(グレートブリテン) (Will Broderick)
キャプテン:ラクエル・コチャン
愛称:ラス・ヤラス

2020年シリーズ順位:12位
2020年シリーズ最多トライ/最多得点選手:タリア・コスタ(10トライ、50点)

ご存知でしたか?
ブラジルは、2004年に初めて南米女子セブンズチャンピオンシップ大会でチャンピオンに輝いて以来、16年連続でタイトルを獲得しています。

注目すべきプレーヤー: タリア・コスタ
女子シリーズ最速プレーヤーの一人であるこの小柄なスピードスターは、わずかな隙間でもすり抜けることができ、全力疾走する彼女に追いつくことができる者はほとんどいません。チームメイトとともに2020年シリーズでの長期にわたる共同生活と大会経験を経て、自信を深めた選手です。

スコッドメンバー

ルイザ・カンポス^ (Luiza Campos)
イザドーラ・セルロ^ (Isadora Cerullo)
タリア・コスタ (Thalia Costa)
タリタ・コスタ (Thalita Costa)
レイラ・ドス・サントス・シルバ (Leila dos Santos Silva)
マリナ・フィオラヴァンティ (Mariana Fioravanti)
ラケル・コッカーン (キャプテン)^ (Raquel Kochhann)
マリアナ・ニコラウ (Mariana Nicolau)
アリー・リベイロ (Aline Ribeiro)
ハリーン・スカトルット^ (Haline Scatrut)
ビアンカ・シルバ (Bianca Silva)
ラファエラ・ザネラット (Rafaela Zanellato)

リザーブ:
エシレン・コインブラ、ガブリエラ・リマ (Eshyllen Coimbra, Gabriela Lima)

2021年7月14日時点のスコッド。^はリオ2016に出場したチーム



カナダ

リオ 2016: 銅メダル
東京2020 シード権: 2

コーチ: ミック・バーン(オーストラリア) (Mick Byrne)
キャプテン: ギスレン・ランドリー

2020 年シリーズ順位: 3位
2020 年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: ビアンカ・ファレラ (18 トライ) / ギスレン・ランドリー (170点)

ご存知でしたか?
カナダのギスレン・ランドリー選手は、シリーズ史上最多の1,356点を記録している主導的スコアラーです。

注目すべきプレーヤー: チャリティー・ウィリアムズ
ウィリアムズ選手がディフェンスを振り切って走り去る姿は、シリーズでは馴染みのある光景となっており、カナダ人は東京2020でもその姿をたくさん見たいと期待しています。ユースオリンピックの銀メダリストであり、リオ2016の銅メダリストでもある彼女は、年を追うごとに成長しています。



中国

リオ2016: 不参加
東京2020 シード権: 9

コーチ: ユーワン・マッキントッシュ(グレートブリテン) (Euan Mackintosh)
キャプテン: ヤン・ミン

2020 年シリーズ順位: 13位 (非コアチーム)
2020 年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: ルイ・ジャオキン、ヤン・フェイフェイ (2トライ) / チェン・ケイ (15 点)

ご存知でしたか?
中国チームは、2016年のリオ大会でニュージーランド女子を銀メダルに導いたショーン・ホーランヘッドコーチのもと、オリンピック出場権を獲得しました。

注目すべきプレーヤー: チェン・ケイ
中国チームで最も経験豊富かつエキサイティングなプレーヤーの一人であるチェン選手は、ペース、パワー、スキルセットを備え、自分だけでなく他の選手にもチャンスを作り出すことができます。周りの選手を鼓舞する存在であり、広州で行われたアジア予選では9トライを決めて中国チームが東京2020への切符を手に入れました。

スコッドメンバー

- エリッサ・アラリー (Elissa Alarie)
- オリビア・アップス (Olivia Apps)
- ブリタニー・ベン (Brittany Benn)
- パム・ブイサ (Pam Buisa)
- ビアンカ・ファレラ (Bianca Farella)
- ジュリア・グリーンシールドズ (Julia Greenshields)
- ギスレン・ランドリー (キャプテン) (Ghislaine Landry)
- カイリ・ルーカン (Kaili Lukan)
- ケイラ・モレスキ (Kayla Moleschi)
- ブリアン・ニコラス (Breanne Nicholas)
- カレン・パキン (Karen Paquin)
- ケヤラ・ワードレイ (Keyara Wardley)
- チャリティー・ウィリアムズ (Charity Williams)

スコッドメンバー

- チェン・ケイ (Chen Keyi)
- グ・ヤオヤオ (Gu Yaoyao)
- リウ・シャオチエン (Liu Xiaoqian)
- ルアン・ホンティン (Ruan Hongting)
- タン・ミンリン (Tang Minglin)
- ワン・ワンユ (Wang Wanyu)
- ウー・ジュアン (Wu Juan)
- スー・シャオヤン (Xu Xiaoyan)
- ヤン・メイリン (Yan Meiling)
- ヤン・フェイフェイ (Yang Feifei)
- ヤン・ミン (キャプテン) (Yang Min)
- ユー・リピン (Yu Liping)
- ユー・シャオミン (Yu Xiaoming)



フィジー

リオ 2016: 8位
東京2020 シード権: 8

コーチ: サイアシ・フリ (Saiasi Fuli)
キャプテン: ルシラ・ナガサウ (Rusila Nagasau)
愛称: フィジアナ

2020 年シリーズ順位: 7位
2020 年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: アナ・マリア・ナイマシ (12 トライ) / トカサ・セニヤシ (67 点)

ご存知でしたか?
2019年11月の数週間うちに、フィジーは東京オリンピックと15人制ラグビーのラグビーワールドカップへの初めての出場権を獲得しました。

注目すべきプレーヤー: ライジエリ・ダヴェウア
ネットボールとラグビーセブンスの二つの競技でフィジー代表入りしているダヴェウア選手は、2016年12月にシリーズデビューを果たし、瞬間に世界の舞台でインパクトを与え、ルーキー・オブ・ザ・イヤーの栄誉を獲得しました。2018年には一時的にネットボールに復帰しましたが、現在はセブンスに戻り、ディフェンスを苦しめています。



フランス

リオ 2016: 6位
東京2020 シード権: 5

コーチ: デビッド・コーテックス (David Courteix)
キャプテン: ファニー・オルタ
愛称: レ・ブルーズ・セブンス

2020 年シリーズ順位: 4位
2020 年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: セラフィーヌ・オケンバ (15 トライ) / シannon・イザール (99点)

ご存知でしたか?
フランスのデビッド・コーテックスコーチは、オリンピックで2度目の金メダルを目指すただ一人の女子セブンスのコーチです。

注目すべきプレーヤー: アン・セシール・シオファニ
ラグビーを始める前は七種競技の選手だったシオファニ選手は、輝けるスポーツ一家の出身です。両親は1980年代のオリンピック選手で、姉妹はハンマー投げの選手です。長身で手足の長い彼女は、地面をうまくカバーし、トライラインへの道を知っています。

スコッドメンバー

- ラヴェナ・カブル (Lavena Cavuru)
- レジェリ・ダベウア (Rajieli Daveua)
- セセニエリ・ドヌ (Sesenieli Donu)
- ライサナ・リクセバ (Laisana Likuceva)
- ルシラ・リクセヴァ (キャプテン) (Rusila Nagasau)
- アナ・マリア・ナイマシ (Ana Maria Naimasi)
- アロエシ・ナコシ (Aloesi Nakoci)
- ロエラ・ラディニヤヴァ (Roela Rodiniyavuna)
- ヴィニアナ・リワイ (Viniana Riwai)
- ヴァシティ・ソリコヴィティ (Vasiti Solikoviti)
- トカサ・セニヤシ (Tokasa Seniyasi)
- レアピ・ウルイナサウ (Reapi Uluinasa)

トラベリングリザーブ:

- ラヴィニア・ティナイ、アナ・マリア・ロキカ、レジェリ・ウルイナヤウ (Lavenia Tinai, Ana Maria Roqica, Rejieli Uluinayau)

スコッドメンバー

- コラリー・バトロン (Coralie Bertrand)
- アン＝セシール・シオファニ (Anne-Cécile Ciofani)
- キャロリン・ドゥルア (Caroline Drouin)
- キャミル・グラシヌー (Camille Grassineau)
- リナ・ゲラン (Lina Guerin)
- ファニー・オルタ (キャプテン) (Fanny Horta)
- シannon・イザール (Shannon Izar)
- クロエ・ジャケ (Chloé Jacquet)
- カーラ・ニーセン (Carla Neisen)
- セラフィーヌ・オケンバ (Séraphine Okemba)
- クロエ・ペレ (Chloé Pelle)
- ジャド・ウルトゥール (Jade Ulutule)
- ジョアンナ・グリセ (Joanna Grisez)



グレートブリテン(イギリス)

リオ2016: 4位
東京2020 シード権: 7

コーチ: スコット・フォーレスト(グレートブリテン) (Scott Forrest)
共同キャプテン: アビー・ブラウン、メガン・ジョーンズ

2020年シリーズ順位: 8位
2020年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: デボラ・フレミング (11トライ, 55点)

ご存知でしたか?
アビー・ブラウン、ナターシャ・ハント、ジャスミン・ジョイスの3選手にとっては2度目のオリンピックとなります。

注目すべきプレーヤー: ジャスミン・ジョイス
リオ2016のチームGBメンバーの中でたった一人の非イングランド人選手であるジョイスは、ウェールズ代表として15人制と7人制の両方で最高レベルのプレーをしてきました。ベースとトライラインを見極める力に恵まれた直感的プレーに長けた選手で、自身のオリンピックデビューで4位以上の成績を残すことに意欲を燃やしています。



日本

リオ2016: 10位
東京2020 シード権: 10

コーチ: ハレ・マキリ(ニュージーランド)
共同キャプテン: バティヴァカロライチェル海遥、清水麻有
愛称: サクラセブンズ

2020年シリーズ順位: 11位(非コアチーム)
2020年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: 大竹風美子(4トライ, 20点)

ご存知でしたか?
リオ2016の9位決定戦で日本がブラジルに敗れたことで、南米勢が2016-17シーズンのワールドシリーズのコアチームの座を獲得しました。

注目すべきプレーヤー: 松田凜日
2019年に北九州で開催されたワールドシリーズに出場しただけで、サクラセブンズではまだ新メンバーの松田選手は19歳。東京2020年に向けてチャンスを与えられた若い世代の一人です。彼女のスピードとパワーから、今後も目が離せない選手です。

スコッドメンバー

ホリー・エイチソン(Holly Aitchison)
アビー・ブラウン(共同キャプテン)^ (Abbie Brown)
アビ・パートン (Abi Burton)
デボラ・フレミング (Deborah Fleming)
ナターシャ・ハント^ (Natasha Hunt)
メガン・ジョーンズ(共同キャプテン) (Megan Jones)
ジャスミン・ジョイス^ (Jasmine Joyce)
アレックス・マシューズ (Alex Matthews)
セリア・クアンザー (Celia Quansah)
ヘレナ・ローランド (Helena Rowland)
ハナ・スミス (Hannah Smith)
エマ・ウレン (Emma Uren)
リサ・トムソン (Lisa Thomson)

スコッドメンバー

バティヴァカロライチェル海遥(共同キャプテン)
原わか花
平野優芽
弘津悠
梶木真凜
小出深冬
松田凜日
永田花菜
大谷芽生
清水麻有(共同キャプテン)
白子未祐
堤ほの花



ケニア

リオ2016: 11位
東京2020 シード権: 12

コーチ: フィリックス・オルー (Felix Oloo)
キャプテン: フィラデルフィア・オランダ
愛称: リオネシス

2020年シリーズ順位: 不参加

ご存知でしたか?
アフリカ地区予選大会では南アフリカが優勝しましたが、南アフリカスポーツ連盟・オリンピック委員会がアフリカ大陸予選による出場権の取得を辞退したため、2位に着いていたケニアが東京2020への切符を手に入れました。

注目すべきプレーヤー: グレース・アディアンボ
17歳でデビューして以来、ライオネスの一員として重要な役割を担ってきた多才なプレーヤー、アディアンボは、自らを「小さいけれど凶器」と表現し、確かにトライラインへの道を知っています。母親にコンタクトスポーツをすることを反対されていたため、秘密裏にトレーニングをしていた少女ですが、ラグビーは彼女に自信を与えてくれました。



ニュージーランド

リオ2016: 銀メダル
東京2020シード権: 1

共同コーチ: アラン・バンティング、コーリー・スウィニー (Allan Bunting, Cory Sweeney)
キャプテン: セーラ・ヒリニ
愛称: ブラックファーンズ・セブンズ

2020年シリーズ順位: チャンピオン
2020年シリーズタイトル: 4 (ドバイ、ケープタウン、ハミルトン、シドニー)
2020年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: スターシー・フルーラー (31 トライ, 155点)

ご存知でしたか?
リオ2016以降ニュージーランドが出場した24の国際大会のうち18大会で優勝しています。ワールドラグビー・セブンズシリーズのカップタイトル16大会に加え、ラグビーワールドカップ・セブンズ2018、そして2018年でのコモンウェルスゲームで初の金メダルを獲得しています。

注目すべきプレーヤー: ポーシャ・ウッドマン
セブンズと15人制の両方においてワールドラグビー女子プレーヤー・オブ・ザ・イヤーに輝いた唯一のプレーヤーであるウッドマン選手は、2018年末にアキレス腱を断裂した後、5月に黒のジャージに戻ってきたばかりです。元ネットボール選手の彼女は、シリーズ史上最多の195トライを記録しており、休養でプレーできなかった時間を取り戻そうと意欲を燃やしていることでしょう。

スコッドメンバー

フィラデルフィア・オランダ(共同キャプテン)^ (Philadelphia Olando)
シーラ・チャジラ(Sheila Chajira)
ステラ・ワフラ (Stella Wafula)
クリスタベル・リンドー(Christabel Lindo)
リア・ワンブイ (Leah Wambui)
ジューディス・オクム (Judith Okumu)
ヴィヴィアン・オクワチ (Vivian Okwach)
サラ・オルチェ(Sarah Ndunde)
グレイス・アディアンボ (Grace Adhiambo)
カミラ・アティエノ(Camilla Atieno)
ジャネット・オケロ (Janet Okello)
シナイダ・オモンディ(Sinaida Omondi)
ダイアナ・オチエン (Diana Ochieng)

スコッドメンバー

ポーシャ・ウッドマン ^ (Portia Woodman)
セーラ・ヒリニ (共同キャプテン) ^ (Sarah Hirini)
ルビー・ツイ^ (Ruby Tui)
タイラ・ネイサン・ウォン^ (Tyla Nathan-Wong)
テレサ・フィッツパトリック^ (Theresa Fitzpatrick)
スターシー・フルラー (Stacey Fluhler)
ミケーラ・ブライド (Michaela Blyde)
アリーナ・サイリ (Alena Saili)
リシ・ポーリ・レーン (Risi Pouri-Lane)
ケリー・ブレイジャー^ (Kelly Brazier)
ゲイル・ブロートン^ (Gayle Broughton)
シャイレイ・カカ (Shiray Kaka)

トラベリングリザーブ:

テニカ・ウィルソン、ジャズミン・ホスマン、テリナ・テタマキ(Tenika Willison, Jazmin Hotham, Terina Te Tamaki)



ロシア・オリンピック委員会

リオ2016: 不参加
東京 2020シード権: 6

コーチ: アンドレイ・クジン (Andrey Kuzin)
キャプテン: アリーナ・ティロン(旧姓ミカルツォヴァ)

2020 年シリーズ順位: 6位
2020 年シリーズ最多トライ/ 最多得点選手: エレーナ・ズドロコヴァ (10 トライ) / クリステリナ・セレディナ (65 点)

ご存知でしたか?
ダブリンで開催された敗者復活戦の決勝戦ではスペインに19-12で敗れ、リオ2016への出場を逃したロシアでしたが、6月にモナコで開催された敗者復活戦では、ロシアオリンピック委員会チームが今回のオリンピック出場権を獲得しました。

注目すべき選手: バイザット・カミドヴァ
ロシア人として初めて30大会に出場し、100トライを記録したカミドヴァ選手は、リオ2016出場を逃した悔しさと、もう二度とオリンピックの機会がないかもしれないという思いを胸に、今後の活躍が期待されます。長身でパワフルなプレーヤーで、チームのためにたゆまぬ努力を続けています。



アメリカ合衆国

リオ2016: 5位
東京2020 シード権: 4

コーチ: クリス・ブラウン (Chris Brown)
共同キャプテン: アビー・ガスタイティス、クリス・トーマス

2020 年シリーズ順位: 5位
2020 年シリーズタイトル: 1 (グレンデール)
2020 年最多トライ/ 最多得点選手: アレブ・ケルター (21 トライ, 171点)

ご存知でしたか?
USAは、デオドロ・スタジアムで行われたプールAのオーストラリアとの対戦で12-12の引き分けとなり、この試合はリオ2016で引き分け試合となった唯一の対戦になりました。

注目すべきプレーヤー: アレブ・ケルター
ソチ冬季オリンピックのアイスホッケーのアメリカ代表に選ばれず失意のどん底にいたケルター選手は、2014年1月、リック・サギットの誘いに応じてセブズのトレーニング合宿に参加しました。以来、彼女は振り返ることはありません。タフで決断力があり、どんな隙間も見逃さない彼女は、何も無いところから何かを起こすことができます。

スコッドメンバー

- アンナ・バランチュック (Anna Baranchuk)
- イアナ・ダニロヴァ (Iana Danilova)
- バイザット・カミドヴァ (Baizat Khamidova)
- マリナ・クキナ (Marina Kukina)
- ダリア・ルシナ (Daria Lushina)
- ダリア・ノリツィナ (Daria Noritsina)
- マリア・ポグレブニャク (Mariia Progrebniak)
- クリスチナ・セレディナ (Kristina Seredina)
- ダリア・シェスタコヴァ (Daria Shestakova)
- ナデツダ・ソゾノヴァ (Nadezhda Sozonova)
- アレナ・ティロン (キャプテン) (Alena Tiron)
- ズドロコヴァ・イレナ (Elena Zdrokova)

スコッドメンバー

- ケイラ・カネット (Kayla Canett)
- ローレン・ドイル (Lauren Doyle)
- チェタ・エンバ (Cheta Emba)
- アビー・ガスタイティス (共同キャプテン) (Abby Gustaitis)
- ニコール・ヘヴァランド (Nicole Heavirland)
- アレブ・ケルター (Alev Kelter)
- クリスティ・カーシュ (Kristi Kirshe)
- イロナ・マー (Ilona Maher)
- ジョーダン・マタイアス (Jordan Matyas)
- アリアナ・ラムジー (Ariana Ramsey)
- ナヤ・タッパー (Naya Tapper)
- クリス・トーマス (共同キャプテン) (Kris Thomas)
- ニア・トリヴァー (Nia Toliver)



カナダ 対 ブラジル

試合日程 女子

1日目 - 2021年7月29日 - 東京

■	試合	チーム1	スコア	チーム2	ノックアウト
1	プール B	フランス	-	フィジー	09:00
2	プール B	カナダ	-	ブラジル	09:30
3	プール C	アメリカ合衆国	-	中国	10:00
4	プール C	オーストラリア	-	日本	10:30
5	プール A	ロシアオリンピック委員会	-	グレートブリテン	11:00
6	プール A	ニュージーランド	-	ケニア	11:30
7	プール B	カナダ	-	フィジー	16:30
8	プール B	フランス	-	ブラジル	17:00
9	プール C	オーストラリア	-	中国	17:30
10	プール C	アメリカ合衆国	-	日本	18:00
11	プール A	ニュージーランド	-	グレートブリテン	18:30
12	プール A	ロシアオリンピック委員会	-	ケニア	19:00

2日目 - 2021年7月30日 - 東京

■	試合	チーム1	スコア	チーム2	ノックアウト
13	プール B	フィジー	-	ブラジル	09:00
14	プール B	カナダ	-	フランス z	09:30
15	プール C	中国	-	日本	10:00
16	プール C	オーストラリア	-	アメリカ合衆国	10:30
17	プール A	グレートブリテン	-	ケニア	11:00
18	プール A	ニュージーランド	-	ロシアオリンピック委員会	11:30
19	9位決定戦準決勝1	3位中3番目	-	4位中3番目	16:30
20	9位決定戦準決勝2	4位中ベスト	-	4位中2番目	17:00
21	メダル準々決勝1	1位プールA	-	3位中2番目	17:30
22	メダル準々決勝2	2位プールB	-	2位プールC	18:00
23	メダル準々決勝3	1位プールC	-	2位プールA	18:30
24	メダル準々決勝4	1位プールB	-	3位中ベスト	19:00

3日目 - 2021年7月31日 - 東京

番	試合	チーム1	スコア	チーム2	ノックアウト
25	11位決定戦	敗者 #19	-	敗者 #20	09:00
26	9位決定戦準決勝1	勝者 #19	-	勝者 #20	09:30
27	5位決定戦準決勝1	敗者 #21	-	敗者 #22	10:00
28	5位決定戦準決勝2	敗者 #23	-	敗者 #24	10:30
29	メダル決定戦準決勝1	勝者 #21	-	勝者 #22	11:00
30	メダル決定戦準決勝2	勝者 #23	-	勝者 #24	11:30
表彰式 18:30					
31	7位決定戦	敗者 #27	-	敗者 #28	16:30
32	5位決定戦	勝者 #27	-	勝者 #28	17:00
33	銅メダル決定戦	敗者 #29	-	敗者 #30	17:30
34	金メダル決定戦	勝者 #29	-	勝者 #30	18:00



オーストラリア

金メダリスト

東京オリンピックで注目すべきラグビーセブンスのスター選手 A~Z

- A** **アレブ・ケルター Alev Kelter (アメリカ合衆国)** アイスホッケー選手だったが、2014年ソチ冬季オリンピックのアメリカ代表入りの夢が絶たれた後、別の道を見つけてオリンピック選手になりました。タフでアグレッシブ、スキルを裏付ける自信と、ディフェンスの隙間を見逃さない能力を持っています。
- B** **ミケーラ・ブライド Michaela Blyde (ニュージーランド)** リオ2016ではトラベリングリザーブだったが、今ではフットワークと爆発的な加速力でシリーズ最も驚異的なフィニッシャーの一人となり、ワールドラグビー女子セブンス・プレーヤー・オブ・ザ・イヤーに2度選ばれています。
- C** **チェン・ケイ Chen Keyi (中国)** 近年、海外コーチ陣が若手スコッドのスキルを強化し自信を高めてきた結果、大きく成長した中国チームの中でも際立った存在がチェン選手です。チェン選手が最高の状態であれば、中国チームは東京でサブライズを起こすかもしれません。
- D** **ブランコ・デプリーズ Branco du Preez (南アフリカ)** シリーズ最多の75試合に出場しているブリッツボックスのプレーヤー、デュプリーズ選手は、リオ五輪出場のチャンスを逃しており、今回初のオリンピック出場となります。ここぞという場面で強さを発揮する彼は、大会の決勝戦で延長戦に持ち込むためのファイナルプレーキックに臨む時も平常心を失いません。
- E** **Cheta Emba (アメリカ)** ハーバード大学でサッカーのゴールキーパーをしていましたが、大学で交差訓練に参加しラグビーを始めました。7人制と15人制の両方のラグビーワールドカップに出場しています。リオ2016ではトラベリングリザーブとして参加した彼女は、サッカーで培ったジャンプ力とキャッチ力で、リスタート時の脅威となります。
- F** **ピアンカ・ファレラ Bianca Farella (カナダ)** ワールドシリーズで150回トライラインを越えた2人の女性のうちの1人であるファレラは、カナダチームの中でも最も経験豊富なメンバーの1人であり、そのペースと素早い足で、ディフェンスに後れを取らせるのにスペースを必要としません。
- G** **ガストン・レボル Gastón Revol (アルゼンチン)** 2009年にシリーズデビューを果たし、サンティアゴ・ゴメス・コーラコーチと共にプレーした最年長プレーヤーですが、前回の準々決勝では最後のペナルティキックに失敗して涙の敗退となった経験を持つ彼は、東京2020でもっと嬉しい結果を出したいと願っています。
- H** **ネイサン・ヒラヤマ Nathan Hirayama (カナダ)** 長年カナダ代表として活躍しているプレーヤーであり、シリーズ史上3番目に多い1,859点を記録しています。彼が糸を引き、ディフェンスを解き放せば、カナダは世界の舞台で侮れないチームになるでしょう。
- I** **カーリン・アイルズ Carlin Isles (USA)** 今は、オーストラリアのスプリンターからセブンスに転向したトレー・ウィリアムズがライバルであるかもしれませんが、アイルズ選手は、2020年にロサンゼルスで開催されたシリーズでアメリカ人として初めて200トライを達成し、長年ワールドラグビー最速のプレーヤーとみなされてきました。
- J** **ジャン・ソンミン Jang Seongmin (大韓民国)** アジア地区予選決勝の香港戦で、延長戦の末に彼がトライを決めてサドネス勝利となり、韓国チームの東京2020への出場が決定。大舞台で世界の強豪と対戦する貴重な機会を得ました。
- K** **テリー・ケネディ Terry Kennedy (アイルランド)** アイルランドのセブンスにおけるダイナミックデュオの片割れであり、敗者復活戦ではジョーダン・コンロイとのテレパシーにも似た意思疎通で20トライを奪い勝利に貢献しました。ケネディの視野の広さ、ペースと足の速さで、アイルランドが東京2020で注目すべきチームとなること間違いなしです。

- L** **ギスレン・ランドリー Ghislaine Landry (カナダ)** ラグビーをするには体が小さすぎると言われていたカナダ代表のキャプテンは、長い間、世界最高のプレーヤーの一人として活躍し、シリーズの歴代最多得点選手でもあります。簡単に言えば、彼女がチームのプレーを指揮してこそ、カナダ代表チームとなり得るということです。
- M** **ティム・ミッケルソン Tim Mikkelsen (ニュージーランド)** 8月に35歳を迎えるミッケルソン選手ですが、その器用さ、巧みなペースと強さは、オールブラックス・セブンスチームの重要な一部となっています。ワールドラグビー・セブンス・プレーヤー・オブ・ザ・イヤーに選ばれたこともあるミッケルソン選手は、シリーズの91大会で235トライを記録した経験豊富なプレーヤーです。
- N** **ダン・ノートン Dan Norton (イギリス)** リオの銀メダリストであり、2009年からの90大会で354トライを記録したシリーズ史上最多のトリスコアラーとして、彼の名前はラグビーセブンの代名詞となっています。現在33歳ですが、いまだに多くの対戦相手が追いつけないペースと狡猾さを持っています。
- O** **アルビン・オティエノ Alvin Otieno (ケニア)** 「バファ」はケニアのセブンスファンの中でもカルト的な人気を誇る英雄です。オティエノ選手の豪快な走りを見れば、チームメイトたちがなぜ彼を「水牛」と呼ぶのか理解できます。フィールド外では至って穏やかな巨人も、試合になると生まれ変わり、フィジカルなラグビーを披露してくれます。
- P** **エヴァニア・ペライト Evania Pelite (オーストラリア)** 目に見えないハードワークをこなし、オーストラリアの成功に貢献しているにもかかわらず、必ずしもその貢献に相応しい評価がされていない縁の下の力持ちです。早いペースでディフェンスを突破する能力と、勝利への強い決意と欲求が結びついたプレーヤーです。
- Q** **最速プレーヤー** カーリン・アイルズ、ミケーラ・ブライド、タリア・コスタ、など、ワールドラグビーでトップクラスのスピードを誇るプレーヤーたちを見逃さないでください。
- R** **セミ・ラドドラ Semi Radradra (フィジー)** RWCセブンス2018以降、フィジー代表としてはプレーしていませんが、15人制でのラドドラのプレーはファンを釘付けにしています。タックラーを跳ね除けたり、そのフィジカルな圧倒的存在感でディフェンスラインを突き破ったり、人を欺くようなペースでタックラーを躲すだけでなく、彼のオフロード能力に匹敵するプレーヤーはほとんどいません。
- S** **セラフィヌ・オケンバ Séraphine Okemba (フランス)** フランス代表の中でもトライを量産する選手の一人であるオケンバは、敗者復活戦でも目を見張るような活躍を見せ、長いストライドとペース、そしてタックルを突破する強さを兼ね備え、5試合で10トライを記録してトップに立ちました。
- T** **ジェリー・ツワイ Jerry Tuwai (フィジー)、ルビー・ツイ Ruby Tui (ニュージーランド)** 前回のワールドラグビー・セブンス・プレーヤー・オブ・ザ・イヤー受賞者である二人は、それぞれのチームで重要な役割を担っています。一人は素早いフットワークと大胆なオフロード、そして無から有を生み出すビジョンを持つマエストロであり、もう一人はハードなタックルと周りにスペースを作り出す、見えない仕事をこなす疲れ知らずのワーカーです。
- U** **ザ・アンストップブルズ: ステシー・フルーラー Stacey Fluhler (ニュージーランド)、ピアンカ・シルバ Bianca Silva (ブラジル)** ワールドラグビーの「Try and Stop Us (誰も私たちを止められない)」キャンペーンに登場する「Unstoppable」な2人。フルーラー選手は笑顔でプレーしながらも、隙間を見逃さず、シルバ選手はステップ、ダミーパス、アクセルを見事にこなします。
- V** **ビリモニ・ボティトゥ Vilimoni Botitu (フィジー)** 2019年の「シリーズ・ルーキー・オブ・ザ・イヤー」にノミネートされた3人のフィジー人のうちの1人で、パワー、スピード、そして非凡なハンドリングスキルを兼ね備えています。フランスの15人制クラブラグビーで1シーズンプレーし、最近チームに戻ってきました。
- W** **ポーシャ・ウッドマン Portia Woodman (ニュージーランド)** ワールドラグビー女子セブンスと15人制両方でのプレーヤー・オブ・ザ・イヤーに選ばれた唯一のプレーヤーであり、その爆発的なスピードと素早いフットワーク、そしてパワーを誇る彼女は、ワールドシリーズで195点のトリスコアという新記録を残しました。2018年末にアキレス腱を痛めて以来、初めての世界大会に出場する彼女は、きっと素晴らしいプレーを披露することでしょう。
- X** **Xファクター** 正直なところ、セブンスは全く予測ができません！ジェリー・ツワイのトリックの数々、カーリン・アイルズやエリア・グリーンズのアクセル、ミケーラ・ブライドのダンスフット、モーリス・ロングボトムズのグースステップを組み合わせれば、ファンは東京2020を大いに楽しむことができるでしょう。
- Y** **ユースオリンピック大会** 2018年にブエノスアイレスで開催された前回のユースオリンピック大会で優勝に輝いたニュージーランドチームのキャプテン、リジ・ブーリレン、アルゼンチンの金メダリスト、マルコス・モネタとルシオ・シンティ、カナダの銅メダリスト、キアラ・ウォードリーなど、エキサイティングな才能がすでにシニアチームへのステップアップを果たしています。
- Y** **エレナ・ズドロコワ Elena Zdrokova (ロシア・オリンピック委員会)** ロシアが最後のハードルでスペインに敗れリオ2016の出場権を逃したときは10代だったズドロコワ選手は、その時の悔しさをバネに、女子セブンスで最も優れたフィニッシャーの一人としての地位を確立しました。オープンフィールドが大好きな彼女に決してスペースを与えてはいけません。

マッチオフィシャル

ワールドラグビーは4月、2020年の東京オリンピックの男子・女子ラグビーセブンズを担当するマッチオフィシャル22名を決定しました。

このチームには、8人の女性レフリーを含む4大陸12カ国からのマッチオフィシャルが選ばれています。経験豊富なレフリーと、オリンピックの舞台でデビューを飾ろうとしている若くエキサイティングな有望レフリーたちです。

この審判員団のうちリオ2016に関わっていたのは、サラ・コックスとエイミー・ベレットだけで、ベレットは、オリンピック初のラグビーセブンズ試合となった初戦と、女子の銅メダルマッチの審判を担当しました。一方、男子決勝を担当したパウロ・ドゥアルテをはじめとする他の6名は、ブエノスアイレスで開催されたユースオリンピック2018で経験を積みました。

また、セリカ・ウィニアタ、ジュリアン・ザスマン、マドレーン・パッツ、リチャード・オートン、デimon・マーフィーの5人の国代表選手が、プレーヤーのジャージをホイッスルに替えます。

男子大会

ジェームス・ドールマン(ニュージーランド)
クレイグ・エバンス(ウェールズ、グレートブリテン)
フランシスコ・ゴンザレス(ウルグアイ) ^
サム・グローブ・ホワイト(スコットランド、グレートブリテン)
橋元教明(日本)
リチャード・ホートン(イングランド)
デーモン・マーフィー(オーストラリア)
ネウエン・ハウリ・リヴェロ(アルゼンチン) ^
マット・ロデン(香港)
ダミアン・シュナイダー(アルゼンチン) ^
ジョーダン・ウェイ(オーストラリア)

* =リオ2016で審判を務めた

^ =ユースオリンピック大会2018で審判を務めたマッチオフィシャル

女子大会

セーラ・コックス(イングランド、グレートブリテン) *
エイミー・ベレット(オーストラリア) *
ホリー・デビッドソン(スコットランド、グレートブリテン)
ローレン・ジェナー(ニュージーランド) ^
アダム・ジョーンズ(ウェールズ、グレートブリテン)
パウロ・デゥアルテ(ポルトガル) ^
タイラー・ミラー(オーストラリア)
マデレーン・パッツ(オーストラリア) ^
テビタ・ロコヴェレニ(フィジー)
セリカ・ウィニアタ(ニュージーランド)
ジュリアン・ザスマン(カナダ)

日本のラグビー史を振り返る

日本におけるラグビーのルーツは、1899年に慶應義塾大学で英語教師のE・B・クラーク博士と、彼の友人でありケンブリッジ大学でチームメイトだった田中銀之助が学生にラグビーを紹介したことに始まります。

日本で初めてラグビーの試合が行われたのは、1901年12月7日、慶應義塾大学が横浜公園でYC&ACと対戦したときでした。

1926年11月30日に日本ラグビーフットボール協会が創設されました。

1987年3月に国際ラグビー評議会(現在のワールドラグビー)に加盟しました。

1987年、日本代表チームが男子ラグビーワールドカップのデビューを飾りました。以降も全ての大会に出場しています。

2019年、アジア初開催となるラグビーワールドカップを日本が開催。史上初めて日本代表が準々決勝に進出し、国民の関心を集めました。

日本女子代表チームは15年ぶりに「ラグビーワールドカップ2017」に出場し、2022年にニュージーランドで開催される次回大会への出場を目指しています。

日本におけるセブンズの歴史を振り返る

日本で最初に行われたとされるセブンズ大会は、1930年4月29日に帝国大学駒場総合運動場で開催されました。

日本はこれまでに、男女のワールドラグビー・セブンズシリーズのラウンド大会を開催しており、男子は東京(2000年、2001年、2012年、2013年、2014年、2015年)、女子は北九州(2017年、2018年、2019年)で行われています。

男子日本代表チームはリオ2016でのラグビーセブンズデビュー大会で4位を飾りました。

男子日本代表チームはコアチームとして、2021年のワールドラグビー・セブンズシリーズに出場します。

カナダ 対 グレートブリテン

ラグビーワールドカップ2019の レガシーを引き継ぐ ラグビーセブンズ



日本で開催された「ラグビーワールドカップ2019」では、「ブレイブ・ブロッサムズ」が日本中を魅了し、記録的な大成功を収めたことから、ラグビーセブンズは2020年東京オリンピックで最も熱狂的に支持されるスポーツの一つになると予想されています。



大会全体で99.3%の観客動員を記録し、184万枚のチケットが販売されたほか、公認ファンゾーンには113万人以上の人々が集まり、24万2千人の外国人訪問客が開催国日本の素晴らしいおもてなしを受けたこのアジア初開催ラグビーワールドカップは、間違いなく史上最も衝撃的で画期的なラグビーワールドカップとなりました。



また、このJapan 2019では、台風19号(ハギビス)の直後に行われ5,480万人のテレビ視聴者数という歴史的新記録を打ち立て、忘れられない一戦となった日本対スコットランドのプール戦など、全世界の放送視聴者数は8億5,700万人を記録。デジタル動画視聴回数は21億回に上り、世界中のファンエンゲージメントの記録を塗り替えました。



「ジャパン2019」はピッチ外でも史上最もインパクトのある大会となりました。ワールドラグビーのレガシープログラム「Impact Beyond」の一環として行ったプログラムを通じて、日本の118万人をはじめ、アジア全域で225万人以上のラグビー参加者が新たに誕生しました。また、ラグビーワールドカップの主要チャリティパートナーであるChildFundのPass It Backイニシアチブには、世界中のラグビーファミリーの寛大な心により、200万ポンドという記録的な寄付金が集まり、アジアの2万5千人以上の恵まれない子供たちに、ラグビーを通じてライフスキルを学ぶプログラムを提供することができました。

¥437 bn

ラグビーワールドカップ2019は、日本に4,370億円の経済効果をもたらし、アジアのラグビーにスポットライトを当てただけでなく、ビジネスや商業界にも大きく貢献しました。



2016年のリオ・デジャネイロオリンピック大会で、ラグビーセブンズが初めて採用されたことは、世界中で約3,000万人の新しいファンが生まれるなど、ラグビーというスポーツに大きな影響を与えました。東京2020では、「ラグビーワールドカップ2019」で築いたレガシーを土台に、さらに多くの観客を獲得することが期待されています。

ラグビー： グローバルスポーツ

- ・ ワールドラグビーに加盟している128協会
- ・ 世界中でラグビーへの関心が高まっており、既存国では63%、新興国では30%にまで上昇している
- ・ 8つの主要新興国におけるラグビーへの関心は、2013年5月から倍増しています(ブラジル、中国、ドイツ、インド、ロシア、韓国、スペイン、米国)。
- ・ ラグビーワールドカップ2019の視聴者数は8億5700万人で、2015年のイングランド大会と比較すると26%増加となった。
- ・ 2019年のラグビーフォロワー数8億7700万人 — 前年比11%増
- ・ 4億500万人のファン - 前年比18%増
- ・ 新興国では、ファンの平均フォロワー期間はわずか5年
- ・ 新しいフォロワーの3分の2は、ラグビーセブンズやタッチラグビーがきっかけだった



フランス 対 スペイン

ラグビーワールドカップ2019は 日本とアジアにとっての ゲームチェンジャーだった

ラグビーワールドカップ
2019日本大会
の視聴数は
史上最高だった

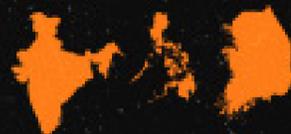
世界中で
8億5700万人
が視聴した

2015年大会
の視聴数を
26%上ま
った



日本人は大会に夢中になっていた。ラグビーワールド
カップ2019について知っていた人
の68%が、2019年に視聴したスポーツイベントの中で
最高のイベントだったと答えている

アジアの新興国におけるラグビーへの関心度も大き
く増加。インド、フィリピン、韓国、ベトナムでの
熱心なラグビーファン人口は2017年以来2倍に増加



88% 日本で大会を開催したことについて知っていた日本人の88%
がラグビーワールドカップをアジアで初めて開催したことは、
ラグビーにとって良いことであると答えており、85%が、その
結果ラグビーの人気が高まるだろうと答えている

ラグビーワールドカップ2019について知っていた新興国の人々の76%が
この大会はラグビーをもっと観る動機になったと答えている



日本の男子ラ
グビーへの関
心度が37%か
ら59%に増加



2019年、女子ラ
グビーへの関心
度は28%から
47%に増加

東京オリンピックに先駆け
て7人制ラグビーへの
関心度も36%から53%と大
きく増加した



メディアの連絡先

ワールドラグビー

Phil Wilkinson (フィル・ウィルキンソン) (シニアコミュニケーションマネジャー)

E: philip.wilkinson@world.rugby

M: +353-87-287-8732

Dom Rumbles (ドム・ランブルズ) (コミュニケーション部長)

E: dominic.rumbles@world.rugby

M: +353-86-852-0826

ワールドラグビーメディアゾーンは、プレスリリース、動画ニュースリリース、統計、画像、解説記事など、ワールドラグビーに関連するすべてのニュースとメディアコンテンツを提供します。

メディア関係者の方は、オンライン登録を行い、ご希望の言語と通知設定 (Eメールおよび/またはWhatsApp) を行ってください

ウェブサイト

www.world.rugby

www.world.rugby/olympics

ソーシャルメディアハンドル

Twitter

@WorldRugbyMedia
@WorldRugby7s

Facebook

/worldrugby7s

Instagram

/worldrugby7s

TikTok

@worldrugby

YouTube

/worldrugby

ハッシュタグ

#HowWeSevens #Rugby7s #Tokyo2020

